

清掃及び院内衛生管理等業務委託仕様書

1 業務の目的

当院施設の衛生環境の向上を図り、患者を始めとする病院を利用する方々に常に清潔で衛生的な環境を提供し、快適な療養生活等を過ごせる場所を確保することを目的とする。

2 履行期間

令和元年10月1日～令和2年3月31日（特段の事情がない限り、委託期間は令和4年9月30日までとする。但し、契約の締結は年度毎に実施する。）

3 履行場所

富山市立富山市民病院内（建物及び敷地内）

履行場所詳細は別紙のとおり

4 施設概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 敷地面積 | 29,229 m ² |
| (2) 建物面積 | 延床面積 42,954 m ²
建築面積 13,023 m ² |
| (3) 建物構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート造
地下1階、地上8階（一部2階、3階及び4階建） |
| (4) 病床数 | 595床 |
| (5) 診療科目 | 内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、
内分泌代謝内科、血液内科、腎臓内科、内視鏡内科、透析内科、
腫瘍内科、小児科、外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、
形成外科、脳神経外科、呼吸器・血管外科、皮膚科、泌尿器科、
産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科、放射線診断科、
歯科口腔外科、麻酔科、ペインクリニック内科、緩和ケア内科、
病理診断科、リハビリテーション科、救急科 計34科 |

5 基本事項

病院においては、医療と看護が作業より優先することを心がけ、病院の特殊性を認識し、医療安全及び院内感染の防止に重点をおいて清掃を行う。清掃にあたっては、衛生的で清潔な医療環境を維持または改善し、建物や設備機能の維持保全を図る。実際の作業に関しては建物環境及び医療環境の管理上当然実施しなければならないものは、CDCガイドライン等にも沿って、基準の仕様書を見直し、これに準じて実施するものとする。併せて当院の衛生環境向上のため、当院で設置されている医療安全委員会及び院内感染対策委員会等と協同し、必要な助言等のコンサルティングや院内感染対策等にかかる計画提案・支援を行うものとする。

6 業務内容

次にあげる内容を業務内容とするが、実施基準については、別紙清掃作業基準書を参考とすること。

(1) 日常清掃（病棟、外来、ホール、施設周辺等）

- ①ゾーン（清潔区域、準清潔区域、一般区域、汚染拡散防止区域、汚染区域）毎に、適した日常的な清掃を行うこと。
- ②随時発生する院内の汚染に対し、除菌清掃を行うこと。
- ③屋外清掃

(2) 定期清掃（(1)のほか、ベランダ等）

- ①床洗浄
- ②ワックス掛け
- ③クリーニング
- ④ガラス清掃
- ⑤バルコニー清掃

(3) 廃棄物回収及び病院敷地内搬送等業務

- ①ゴミ箱の維持管理
- ②ゴミ袋の備え付け
- ③院内における廃棄物の回収・運搬を行うこと。
- ④院内集積所の維持管理

(4) その他清掃関連業務

- ①医師当直室等シーツ交換
- ②消耗品等補充業務
院内の清潔を保つために必要な物品（ハンドソープ、トイレットペーパー、ペーパータオル等）の補充を行うこと。
- ③デイルーム等整理整頓業務
デイルームのほか、汚物処理室、リネン室、湯沸室、配膳室等の清掃や整理整頓を行うこと。

(5) 清掃及び院内感染対策に係る計画提案等業務

- ①感染対策業務
院内感染対策のために、清掃業務等を通して必要な策を講じること。
院内感染対策の見直し等について、計画提案等の支援を行うこと。
- ②清掃確認作業業務
定期的に清掃状態が保たれているか、確認作業を行うこと。
院内感染対策委員会及び契約担当課と協同でラウンド（チェック）作業を行うこと。
- ③作業手順書等の作成、改訂支援業務
清掃作業手順書を作成、当院に提出し、承認を得ること。
当院の清掃業務実施基準の改訂支援を行うこと。
- ④情報提供等
清掃及び院内感染対策について、当院へ必要な情報提供を行うこと。
当院で行う院内感染防止対策に係る研修について必要な情報提供を行うこと。
業務に関することや院内環境に関することで指摘された点や気付いたことを定期及び随時に報告すること。

8 業務体制

(1) 受託責任者（以下「責任者」という。）等

業務を円滑に遂行するため、専従の責任者を定め、病院の承認を得ること。なお、責任者は、院内に常駐するものとし、病院清掃受託責任者講習を受け登録された者で、通算2年以上の責任者経験を有するものとする。管理者は、日本医療環境福祉検定協会認定の医療環境管理士または同等の資格を有することが望ましい。また、責任者を補佐する者として、作業の内容判断ができる技術力及び、作業指導等の総合的な技能を有し清掃実務経験6年以上の者を少なくとも2人以上配置すること。

(2) 作業スタッフ

作業スタッフは清掃状態が保たれるだけの人数を確保すること。また、事前に契約担当課の承認を受けた制服、名札を着用すること。健康管理のために労働安全衛生規則等により、健康診断を受けたものを配置すること。また、清掃作業従事者は医療従事者同様に感染源となる可能性や感染を受ける可能性があるため、受託者の責任において入社時健診、最低年1回の定期健康診断や体調チェック、ワクチン接種を行い抗体価（HBV、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）を当院へ報告すること。また、作業スタッフが感染症にかかった場合は、速やかに当院へ報告し、指示に従うこと。

(3) 業務体制

業務の実施にあたっては、業務の性質上当然実施しなければならないものはもとより、仕様書に記載のない事項でも清掃業務に付帯する業務で、建物の管理保存上及び美観上必要と認められる軽微な業務は、常に当院と密接な関係を保ち、業務範囲内で実施するものとし、清潔、整頓、美化に努めなければならない。

(4) 清掃用具

使用する資機材、洗剤等は、ゾーンごとに区別し、院内感染防止に配慮すること。また、各種建材の特性を認識し、最適の清掃資機材を使用すること。用具の管理や清潔の保持に努めること。清掃時に使用するマスク、手袋は頻回に交換すること。

9 業務時間等

業務時間は、午前7時30分から午後5時30分までを原則とするが、診療業務等に支障がある箇所については、当院と協議の上、実施すること。年末年始については、別途協議するほか、三連休の場合には、うち1日は平日同様の日常清掃を実施すること。

10 費用負担

次に挙げるものは当院の負担とし、その他は受託者の負担とする。ただし、提案により変更も可能とする。なお、使用にあたっては、効率的に使用し、十分節約に努めること。

- (1) 作業に必要な光熱水費
- (2) トイレトペーパー
- (3) トイレの手洗い洗浄剤
- (4) 各種廃棄物用ゴミ袋
- (5) ペーパータオル
- (6) その他当院が所有する器具・控室等で当院が使用を認めたもの

1 1 教育・研修

(1) スタッフ教育

受託者は、本委託に従事する者全員（責任者、補佐する者、作業スタッフ）に対し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「医療法」等の関係法規（施行令、施行規則、通知等含む）に基づいた清掃方法、感染対策、医療安全対策に加え、接遇・マナー等に関する理解を深めるための研修を、計画的・定期的に行わなければならない。事前に研修計画を提出し、計画に沿って研修を行うこと。なお、行った研修については、研修資料及び記録を提出すること。

(2) 研修参加

①感染対策に関する研修については、次のとおり参加すること。

ア 当院が全職員を対象として開催する研修 年2回以上

イ 院内感染対策委員会が受託者に対して特別に実施する研修 年1回以上

②他に当院で行う研修に参加を要請された場合は、責任者及び作業員は業務に支障がない限り参加すること。

1 2 関連業務

(1) 手術室環境消毒業務

手術室の天井・壁面・床面の清拭、器材の清拭、リターン側のフィルター清掃

(2) ガラス清掃業務

ガラスの外、内面の清掃

(3) 厨房清掃業務

床面・蛍光灯器具・空調吹出口・フードの清掃

(4) ファンコイルユニット清掃業務

病棟に設置されているファンコイルユニットのフィン洗浄及び全面の清拭

対象機器：F C－2 1 (1,002×231×H640) 2 8 0 台

F C－3 1 (1,128×231×H640) 7 1 台

F C－4 1 (1,255×231×H640) 7 台

1 3 業務引継ぎ

契約終了または契約解除の場合において、新たな受託者による業務開始日までは、理由や損失に関わらず、業務を誠実に行う（代行業者による実施も可能とする。）ほか、業務引継ぎに必要な情報を提供するものとする。

1 4 その他

提案等に基づき、仕様書・基準書等に大きな変更が生じる場合は、双方で協議を行うものとする。

1 5 個人情報の取扱い

受注者は、患者個人情報の取扱いに関して、次の事項を遵守する。

① 受注者は、患者個人情報を受注者が受託した業務範囲のみで取扱うこと。

- ② 個人情報の授受・管理・保管は、発注者が定めた場所・手順等に従うこと。
- ③ 患者等の個人情報の記載された書面は整理整頓し、開示・漏洩・改ざん等の事故の無いように取扱わなければならない。
- ④ 受注者は、個人情報に関わる書面・データを発注者の指示に従い作成すること。
また、廃棄する場合においては、判別不能な状態にして処理すること。
- ⑤ 受注者は、受注者の従業員に個人情報に関し必要な教育をしなければならない。

清掃作業基準書

1 日常清掃について

病 棟	・病室(洗面台含む)・廊下(手すり含む)・トイレ・浴室(特殊浴室含)は平日1日1回実施 ・スタッフルーム(洗面台等含)は平日1日1回実施 ・トイレ清掃のチェックリストに記載(実施の度) ・南4階(精神)病棟については、病院職員の指示後実施 ・感染症病棟の清掃を週1回実施
外 来	・救急科は毎日清掃実施(シーツ交換含む)、透析内科は1日1回(月～土)実施 ・他の診療科は、平日1日1回実施 ・トイレ清掃を平日1日1回実施、チェックは1時間毎に実施(午前) ・トイレ清掃のチェックリストに記載(実施の度) ・高所の除じんも実施
医 局	・個室については、週1回程度実施(洗面台等含む)、ゴミ回収は平日1日1回実施 ・個室以外は平日1日1回実施(洗面台等含む)、ゴミ回収は平日1日1回実施
ホ ー ル 等	・玄関ホール、階段、エレベータ、更衣室は平日1日1回実施(手すり・洗面台等含む) ・降雨・降雪時には、床の滑りを防止するため、適宜床の拭き取りを実施 ・リハビリ、検査、放射線等は平日1日1回実施 ・ゴミ回収、トイレ清掃を平日毎日実施 ・講堂や集団指導室等の会議室は週1回実施 ・日常のガラス清掃を含む
敷 地 構 内	・排水口や溝のゴミ・汚泥の排除、清掃搬出は週1回以上実施 ・バス停、駐車場、駐輪場、敷地内通路の紙屑、吸殻の清掃及び雑草の撤去は平日1日1回実施

2 定期清掃について

床 洗 浄 ワックス掛け	・外来診療科・・・年1回実施 ・病室・・・最低年1回実施 ・1回のワックスがけは2層を目処 ・頻度の多いトイレ・・・年3回実施 ・共用部分・・・年2回実施
ガラス 清 掃	・すべての場所を年1回以上実施 ・病棟については、年2回以上実施 ・玄関口などは、月1回以上実施
バルコニー 清 掃	・年1回以上実施

3 廃棄物回収及び病院敷地内搬送等業務

院内の廃棄物 回 収・運 搬	・指定された分類に従い、集積された廃棄物の回収 ・病棟・・・1日3回、透析室・・・1日1回、外来・・・1日1回 ・おむつが多く発生する病棟については、1日4回実施 ・各トラッシュルーム等から地下集積所までのほか、地下集積所から地上集積所までの廃棄物の運搬 ・感染性廃棄物の箱詰め作業を実施 ・ハザードボックスの補充を1日1回以上実施
院内集積所の 維 持 管 理	・各集積所、トラッシュルームの整理、整頓、清掃を行う

4 その他

当 直 室 等 シーツ 交 換	・1日1回以上交換
消 耗 品 補 充	・補充と、残数報告 ・対象物品の整理、整頓
そ の 他	・デイルームは平日1日1回実施(洗面台等含む) ・浴室等は1日1回(月～土)実施、浴槽のお湯はりは平日実施 ・面談室、カンファレンスルーム、リネン室の清掃も実施 ・栄養科厨房床面等は、床面、蛍光灯器具、空調換気用制気口、フードの清掃を年2回実施 ・手術室環境消毒を年1回実施 ・退院時のチェックアウトクリーニングは平日実施 ・業務委託時間外等に病院職員が清掃を行うための資器材の貸し出し ・病棟ファンコイルのフィン洗浄及び全面清拭を年2回実施 ・中庭・屋上について落ち葉等の清掃、雑草の撤去を適宜実施

清掃作業実施要領

日常清掃

1. 基本実施項目

(1) 床の掃き清掃及び拭き清掃（1モップ方式）

- ①ゴミや埃が拡散しないよう、注意しながらモップ等で除塵、清拭を行う。
- ②騒音、振動に留意し、作業する。
- ③モップは1部屋毎に交換すること。

(2) 高所の除塵

- ①天井に近いところ（ドア上部、桟、壁面）の高所除塵に適した用具で除塵する。

(3) ガラス清掃

- ①玄関等の出入り口、病棟ディルーム等のガラスも適宜クリーニングする。

(4) 備品付器の清掃

- ①手摺、ドアノブ、ソファ、テーブル、電話機台、フラワーボックス、消火器等の清掃及び除菌剤を含んだクロスで清拭する。

(5) ゴミの回収とゴミ箱の清掃

- ①ゴミ箱に必要な箇所についてはゴミ袋を取り付けること。
- ②ゴミ袋は異臭、汚れ、破れ等があれば交換する。
- ③ゴミ箱の汚れを点検し、汚れている場合は随時除菌剤を含んだクロスで清拭する。
- ④病室のゴミ回収は日1回、病棟・透析室・手術室・救急外来については午前1回午後2回、外来診察については午後1回とする。
- ⑤指定された分類に従って集積されたゴミを収集し、指定された場所まで運搬する。
- ⑥医療廃棄物の回収は十分に研修を受けた特定の作業員が行い、事故のないように注意すること。
- ⑦ゴミ集積場所は常に整理整頓する。

(6) 医療廃棄物の梱包

- ①事故のないよう作業は慎重に注意して行うこと。
- ②指定された方法で梱包する。

(7) 施設の水回りの清掃

- ①陶器製洗面、便器の内外部、バスタブ等の除菌、清掃を行う。
- ②棚、桟、壁等の除菌、清掃を行う。
- ③水道蛇口、シャワー器具、配管パイプ、排水溝、トラップ等除菌、清掃を行う。
- ④鏡の清掃
- ⑤トイレトーパー、液体石鹸等の備品を補充する。

(8) 留意事項

- ①清掃時に移動させた備品類は作業終了後、元の位置に戻すこと。
- ②防火扉の前、防火シャッターの下には物を置かないこと。

- ③使用中でない用具、器材は所定の場所に収納し、患者の目に触れないようにすること。

2. 部門別特記項目

(1) 廊下、階段

- ①廊下、階段は床面の他、ステップ、巾木、壁、手すり、棧の汚れ・埃等を立体的に清掃すること。

(2) エレベーター

- ①エレベーターの清掃は、利用者の少ない時間帯に行うこと。
- ②床、壁、手すりの清掃後、鏡は曇りがないように仕上げること。
- ③ステンレス部分は定期的に保護剤を塗布すること。
- ④溝にゴミ・埃が溜まらないようにすること。

(3) 陶器製洗面、トイレ

①床

除菌剤を含む溶液に浸したモップで適宜清拭する。特にトイレでは頻繁に点検を行い適宜清拭すること。

トイレで使用したモップはその他のエリアで使用しないこと。

②便器

便器は日1回全面清掃を行う。特に小便器のトラップも入念に行うこと。

③陶器製洗面

材質にあった洗剤、用具を使用し日1回全面清掃を行うこと。

④鏡

日1回曇りがないよう十分に清拭すること。

⑤ゴミ処理

汚物入れは一杯にならないよう適宜点検すること。

⑥蛇口、配管パイプ

蛇口は日1回水垢がないよう十分に清拭すること。配管パイプは埃が溜まらないよう適宜清拭すること。

⑦壁

壁の水垢、尿の飛散を除去するため壁の清拭も行うこと。

⑧その他

ランプ上部、棚等の清掃も適宜行うこと。

(4) 玄関

- ①落ち葉、タバコの吸殻等のゴミを収集し美観を損なわないようにすること。
- ②クモの巣の除去作業を適宜実施すること。
- ③傘たては常に整理整頓すること。

(5) 退院後の病室清掃

- ①患者退院時に、ベッドフレーム（ジャッキアップし中のフレームも清掃すること）、床頭台、冷蔵庫、スタンド上部、ロッカー、壁、窓等の普段実施困難なベッド廻りの清掃を行い、最後に床の清拭を行うこと。
 - ②特別室における退院後の清掃は、上記に加えミニキッチン廻りや浴室等も入念に清掃すること。
 - ③ベッド管理を行うこと。
- （６）外来・待合ホール
- ①診療終了時以降、床の清掃を行うこと。
 - ②受診者の方に十分配慮して作業を行うこと。
- （７）その他注意事項
- ディスポグローブの着用について、トイレ清掃・手すりの清拭等の環境整備で除菌洗浄剤を使用する時に着用すること。１作業１手袋を原則とし、必ず作業毎に交換すること。但しモップ等の道具を扱う時は着用しないこと。（感染症部屋の場合は除く）

定期清掃

１．基本実施項目

（１）床定期清掃（ハードフロア）

- ①作業表示板を立て周知させること。
- ②椅子、机、ベッド等移動可能な物は全て移動して行い、終了後は元に戻して確認すること。
- ③汚れの状況を判断して表面洗浄或いは剥離洗浄を実施し美観を保つようにすること。また巾木面の汚れも入念に除去すること。
- ④床面の種類、使用状況を考慮したうえワックスを２～３層塗布すること。
- ⑤作業者は決して現場から離れてはいけない。安全対策として常に周知させること。

（２）床定期清掃（カーペットフロア）

- ①作業表示板を立て周知させること。
- ②椅子、机等移動可能な物は全て移動して行い、終了後は元に戻して確認すること。
- ③汚れの状況を判断してパッド洗浄或いは吸引洗浄を実施し美観を保つようにすること。
- ④カーペットフロアからハードフロアへ切り替わる場所には転倒事故防止のため養生吸水マットを敷くこと。

関連業務仕様書

1 手術室環境消毒業務

(1) 対象 手術室

(2) 業務内容

①内容

手術室の天井・壁面・床面の清拭、器材の清拭、リターン側のフィルター清掃

②頻度

1回／年

(3) 業務実施結果の報告

業務実施後、速やかに業務報告書を提出するものとする。

2 ガラス清掃業務

(1) 業務内容

①内容

ガラスの外、内面の清掃を実施する。

②頻度

病棟・・・・・・2回／年

外来・・・・・・1回／年

3 厨房清掃業務

(1) 業務内容

①内容

床面・蛍光灯器具・空調換気用制気口・レンジフードの清掃を実施すること。

②頻度

2回／年

(2) 業務実施結果の報告

業務実施後、速やかに業務報告書を提出するものとする。

4 ファンコイルユニット清掃業務

(1) 業務概要

対象区域に設置されているファンコイルユニット（フィン洗浄）及び全面清拭業務を年2回行う。

(2) 業務仕様

①基本事項

各室のファンコイルユニットは、常に清潔な状態を保持しなければ、カビ等を飛散させる事になり、室内の衛生度を著しく害う恐れがある。このファンコイルユニット（フィン洗浄）及び全面清拭業務が衛生管理上重要な業務であることを認識し、仕様書に従い誠実に業務を遂行すること。

②対象区域

東病棟 3 階～ 8 階 及び 西病棟 3 階～ 7 階

③対象機器の種類及び数量

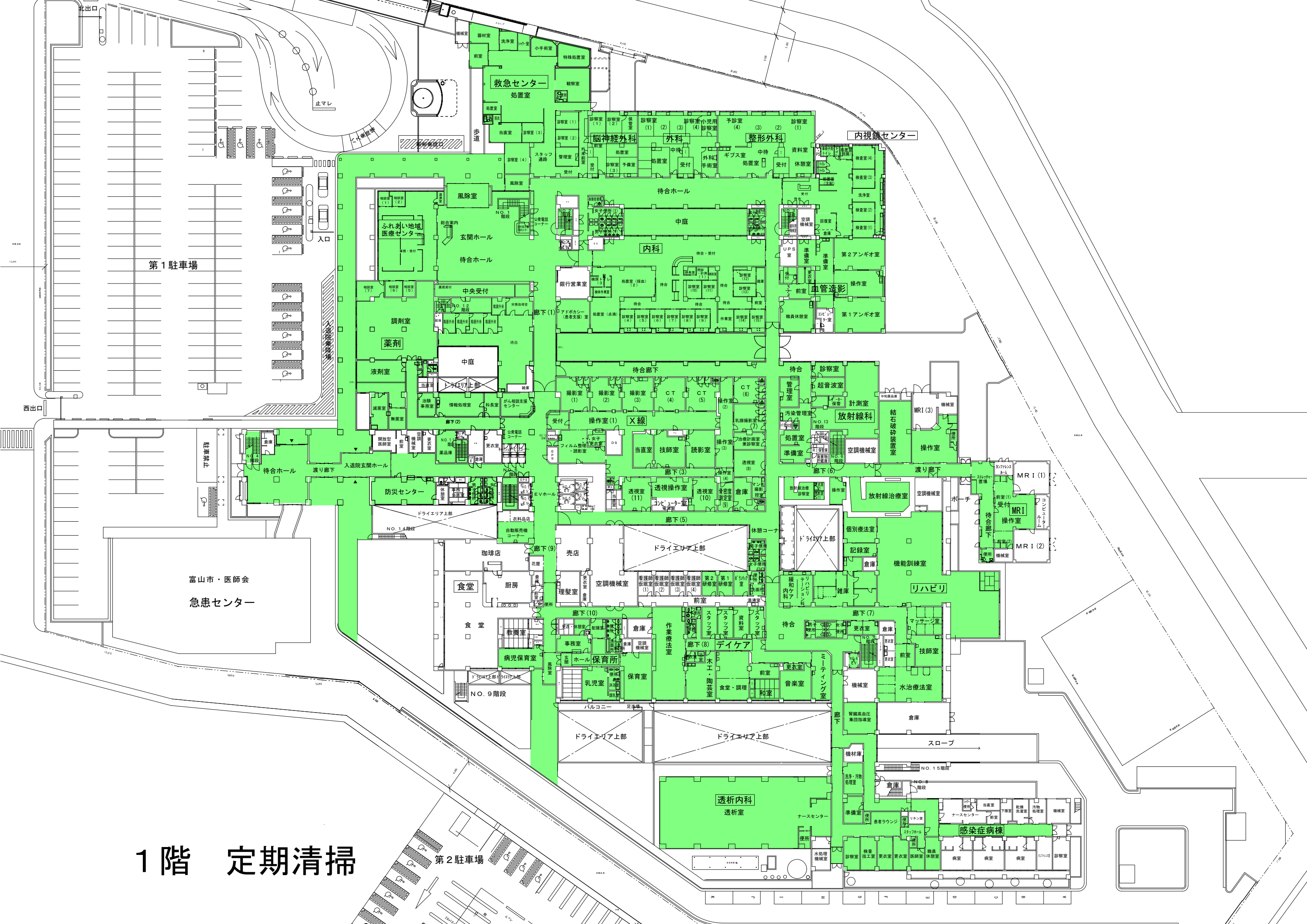
F C - 2 1 (1,002×231×H640)	2 8 0 台
F C - 3 1 (1,128×231×H640)	7 1 台
F C - 4 1 (1,255×231×H640)	7 台

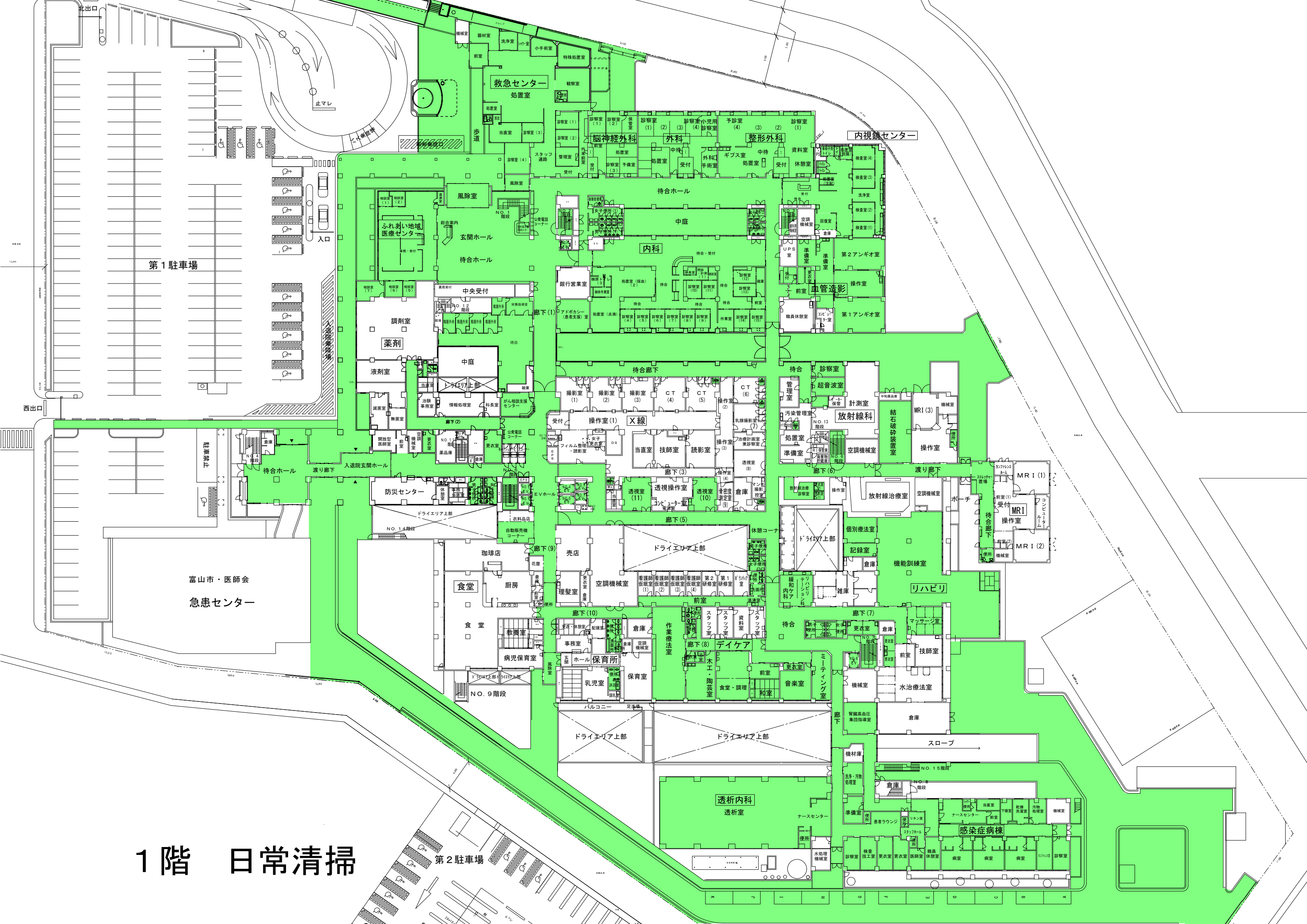
④業務内容

- 1) ファンコイル全面を「第四アンモニウム化合物（同等品可）」を使用し、清拭を行う。
- 2) 吹出し口は、洗浄剤にて洗浄し十分乾燥させた後取り付ける。
- 3) 前面口を開き、H E P A 付掃除機にてフィン部の除塵を行う。
- 4) フィン部を高圧噴霧器にて、洗浄剤（50℃～60℃）で洗浄。その後、高圧噴霧器にて水（50℃～60℃）により洗浄剤を除去する。
- 5) 4) の後、「第四アンモニウム化合物（同等品可）」をフィン全面に噴霧する。
特に発注者から指示がある場合、指定された消毒液を使用する。この薬剤も受注者負担とする。
- 6) 取り外した、吹出し口、ファンコイル全面口が確実に元に戻っているか確認する。

（３）留意事項

- ①受注者は、受託業務の実施に際し、発注者と十分打合せを行い、あらかじめ工程表を作成し、提出すること。
- ②クリーンルーム、感染症室入室に際しての入室要領を、事前に発注者に提出すること。
- ③作業日程について事前に打ち合わせを行った上でも、当日作業出来ない場合があり、且つ代替部屋を確保することも出来ないことがあり得る。この場合の人件費等これらに関わる費用については、全て受注者の負担とする。
- ④作業実施に必要な資機材、消耗品等はすべて受注者が準備し、使用機材の搬入搬出は、発注者の指定した経路で行うこと。
- ⑤清拭に用いるタオル類は、事前に次亜塩素酸ナトリウム 0. 1 % で洗浄した物を用い、完全に乾燥させたものを使用し、ファンコイル 1 台毎に取り換える事。
- ⑥作業実施にあたり、発注者の診療業務に支障のないよう充分留意すること。
- ⑦作業中、発注者の器物、建築物、消耗品等を破損、使用不可能にした場合は、受注者の責任において復旧すること。
- ⑧受注者は、作業記録、結果、実施工程表、作業写真等を作業完了までに提出すること。





1階 日常清掃

第1駐車場

第2駐車場

富山市・医師会
急患センター

救急センター
処置室

内科

透析内科
透析室

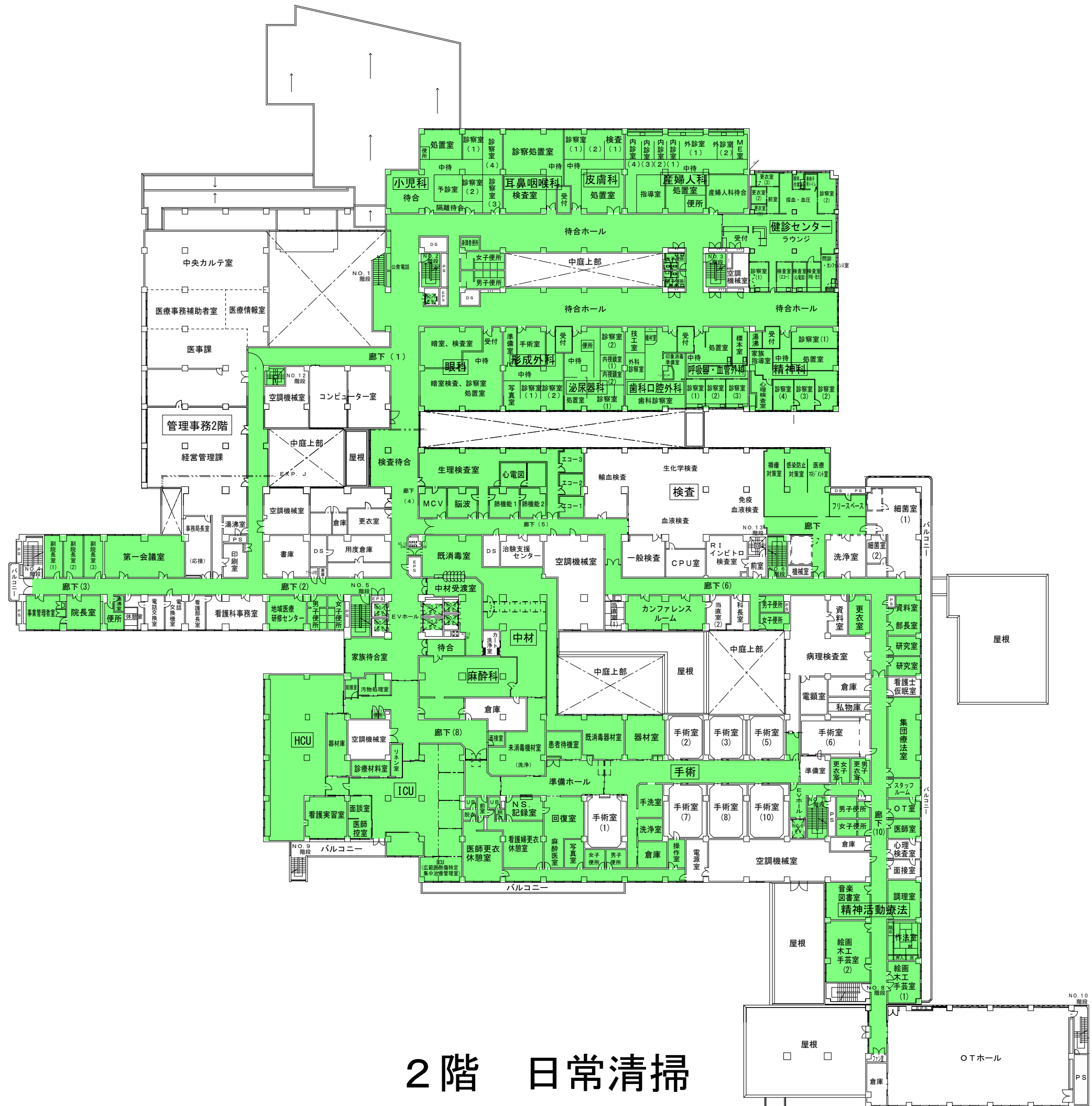
内視鏡センター

放射線科

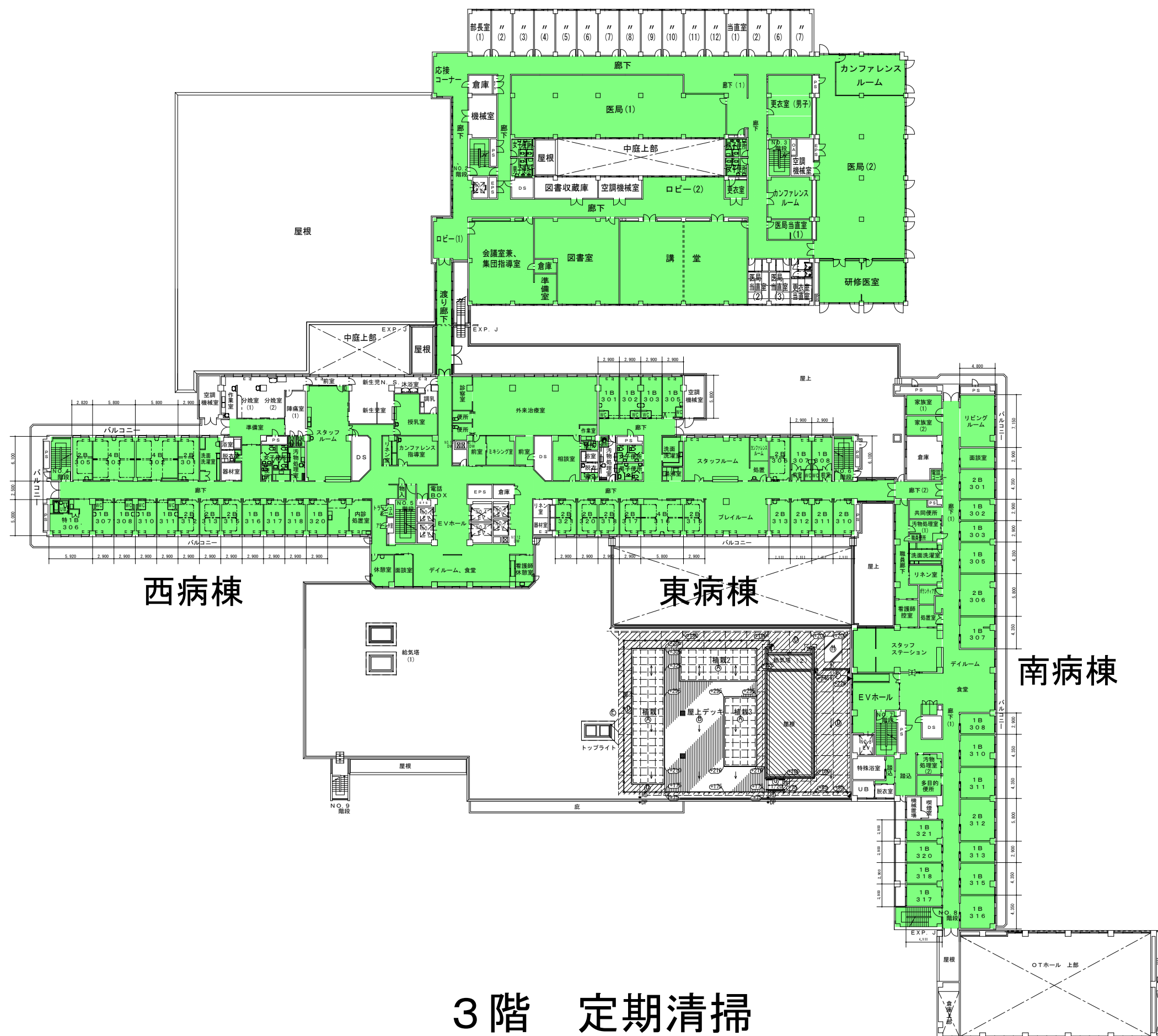
リハビリ

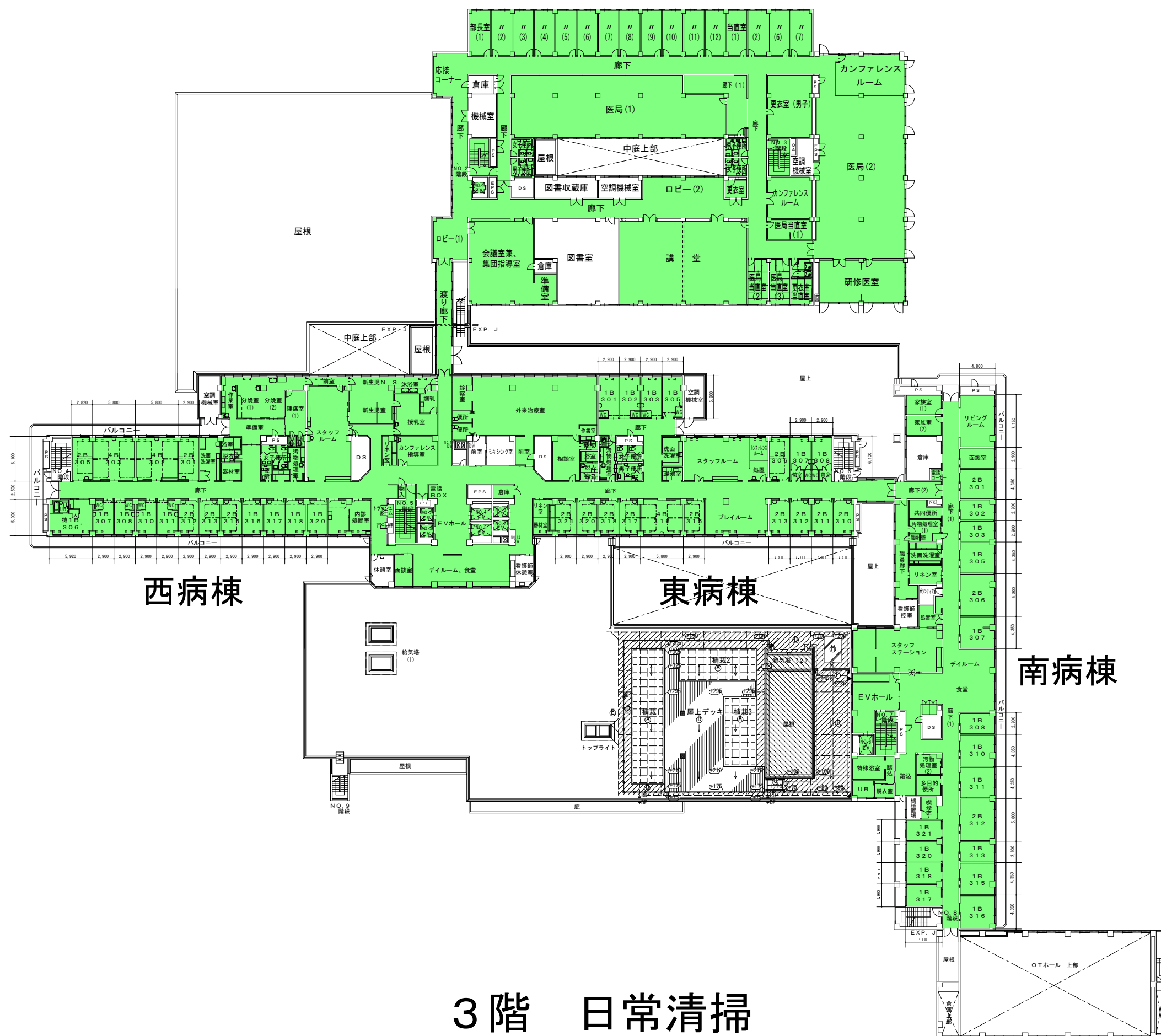
感染症病棟



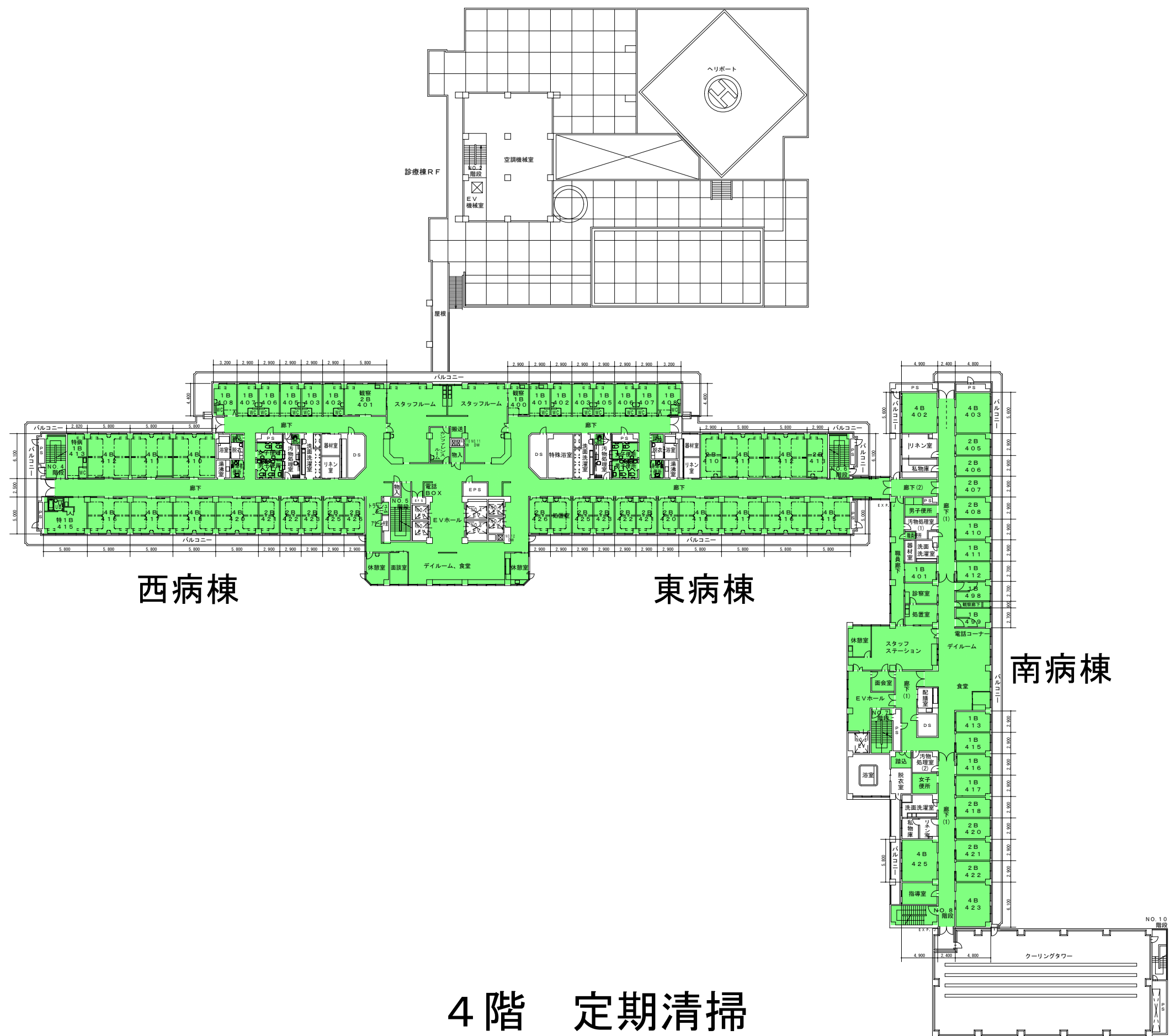


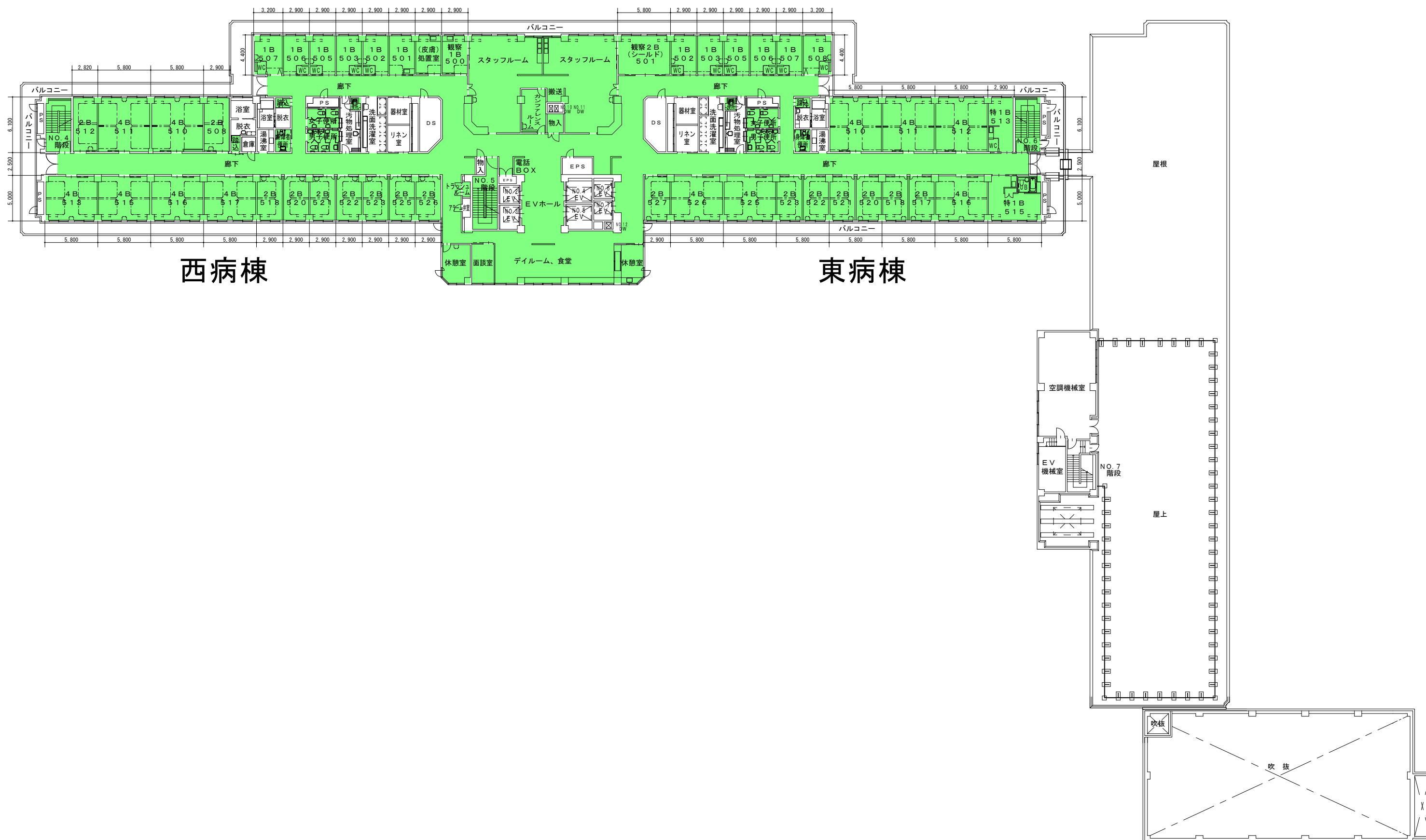
2階 日常清掃



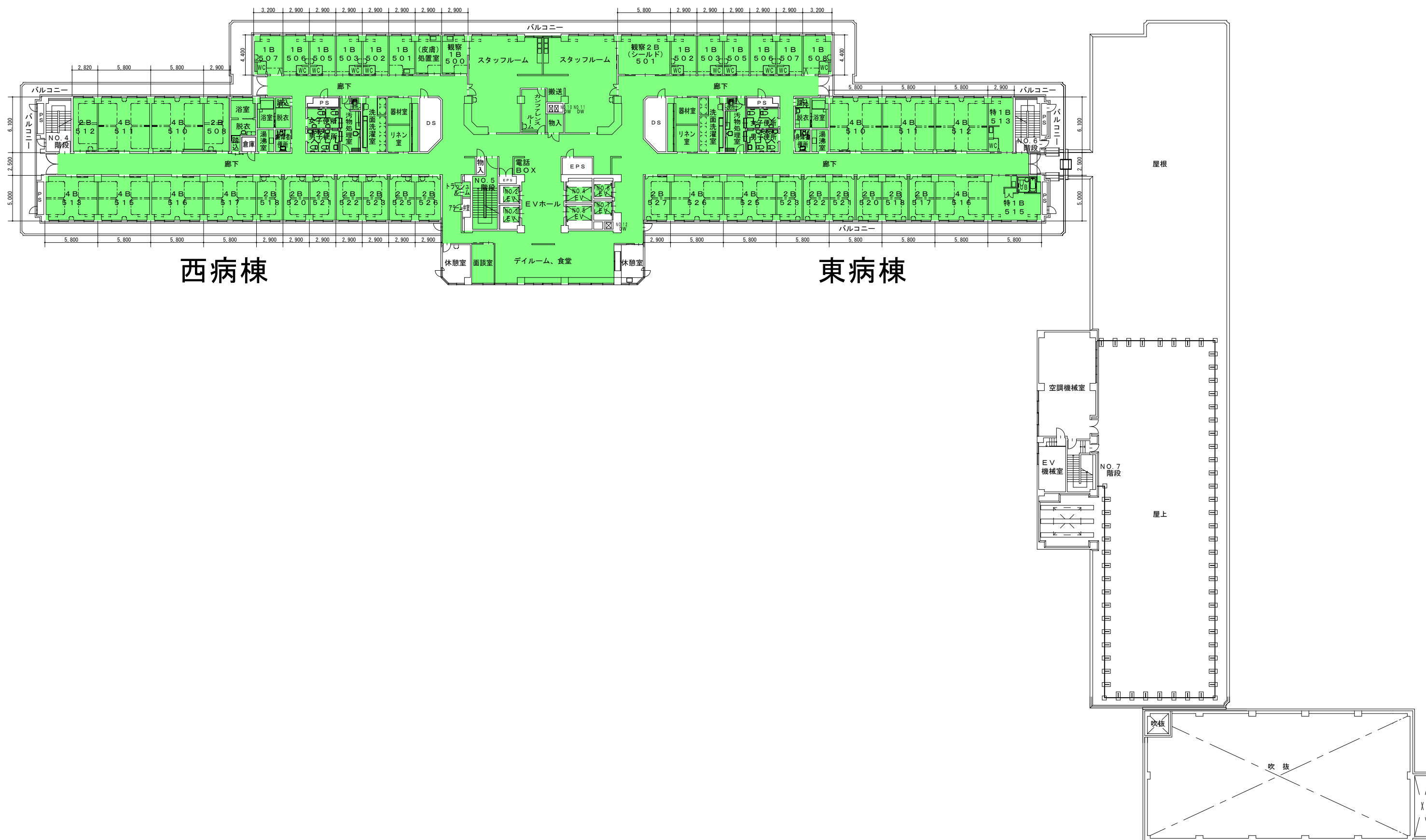


3階 日常清掃

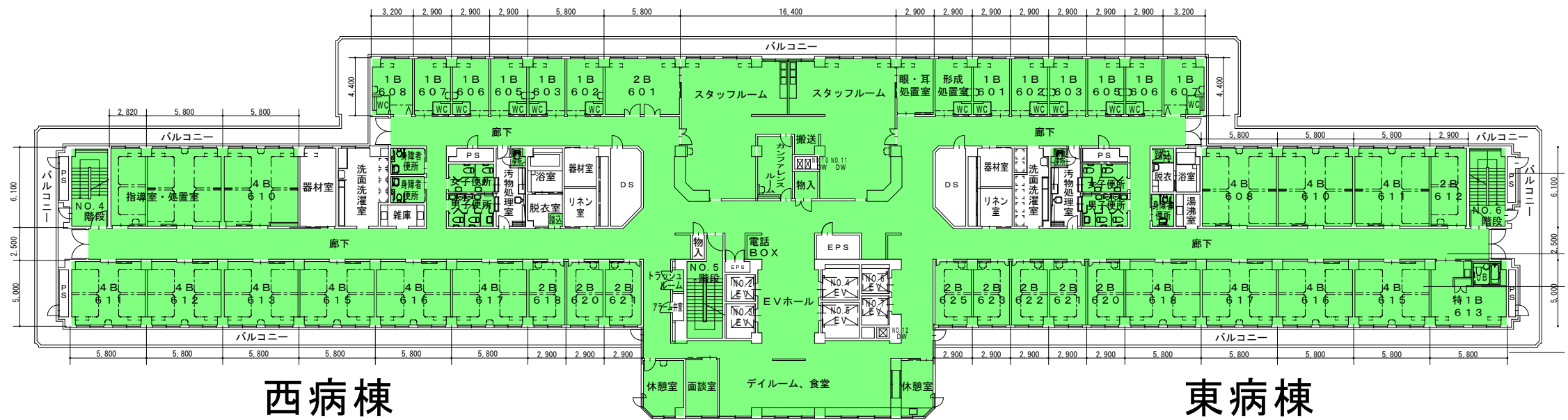




5階 定期清掃



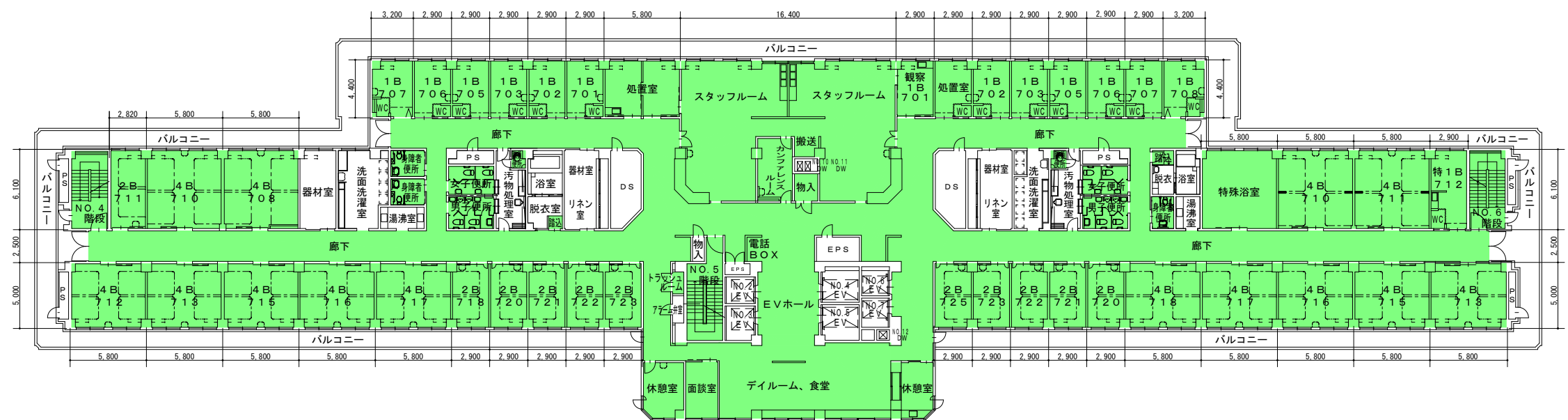
5階 日常清掃



西病棟

東病棟

6 階平面図

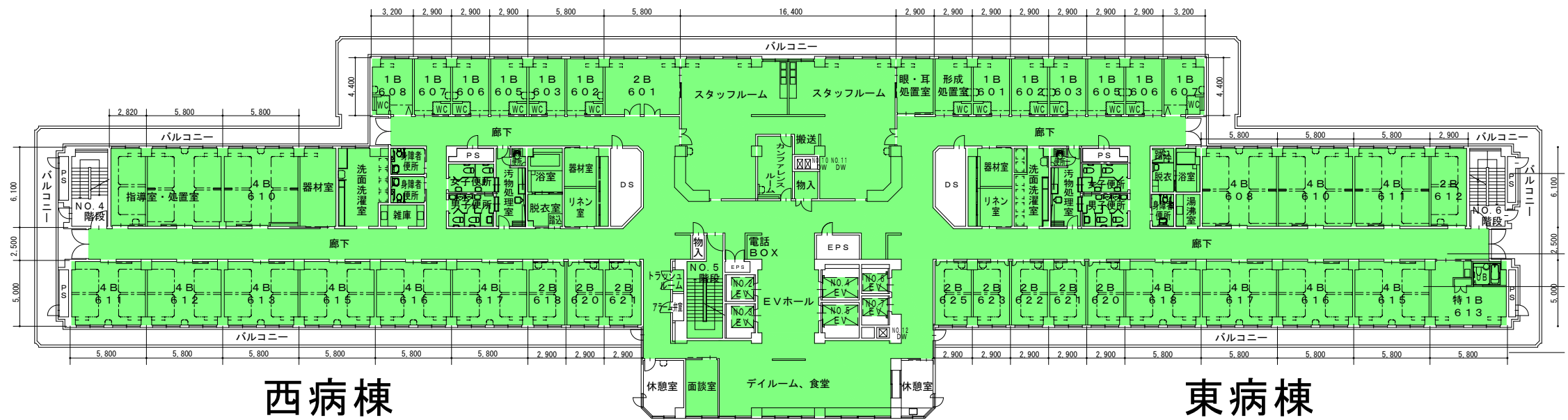


西病棟

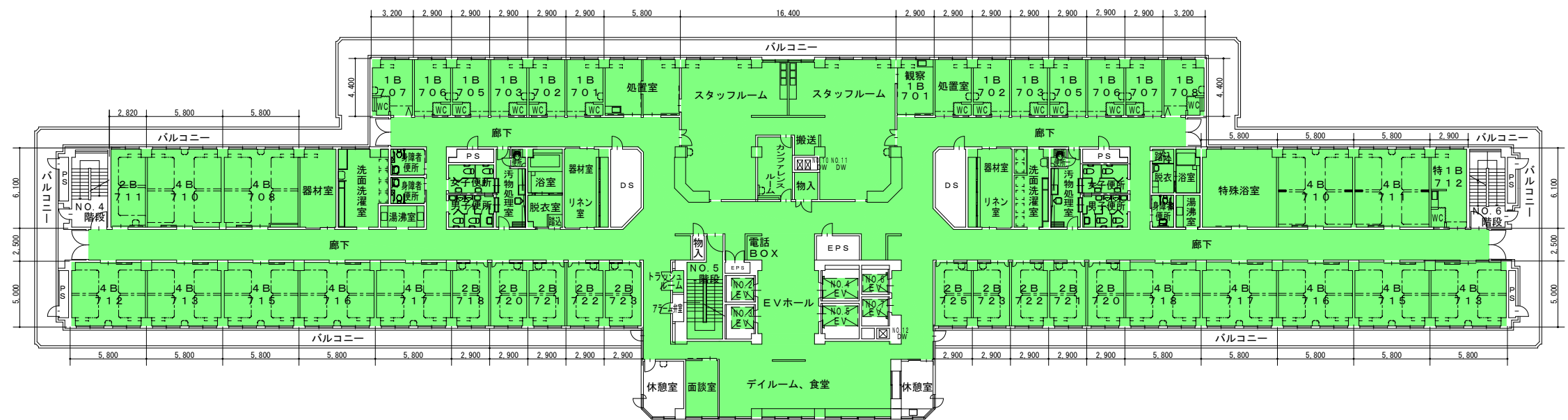
東病棟

7 階平面図

6 階・7 階 定期清掃

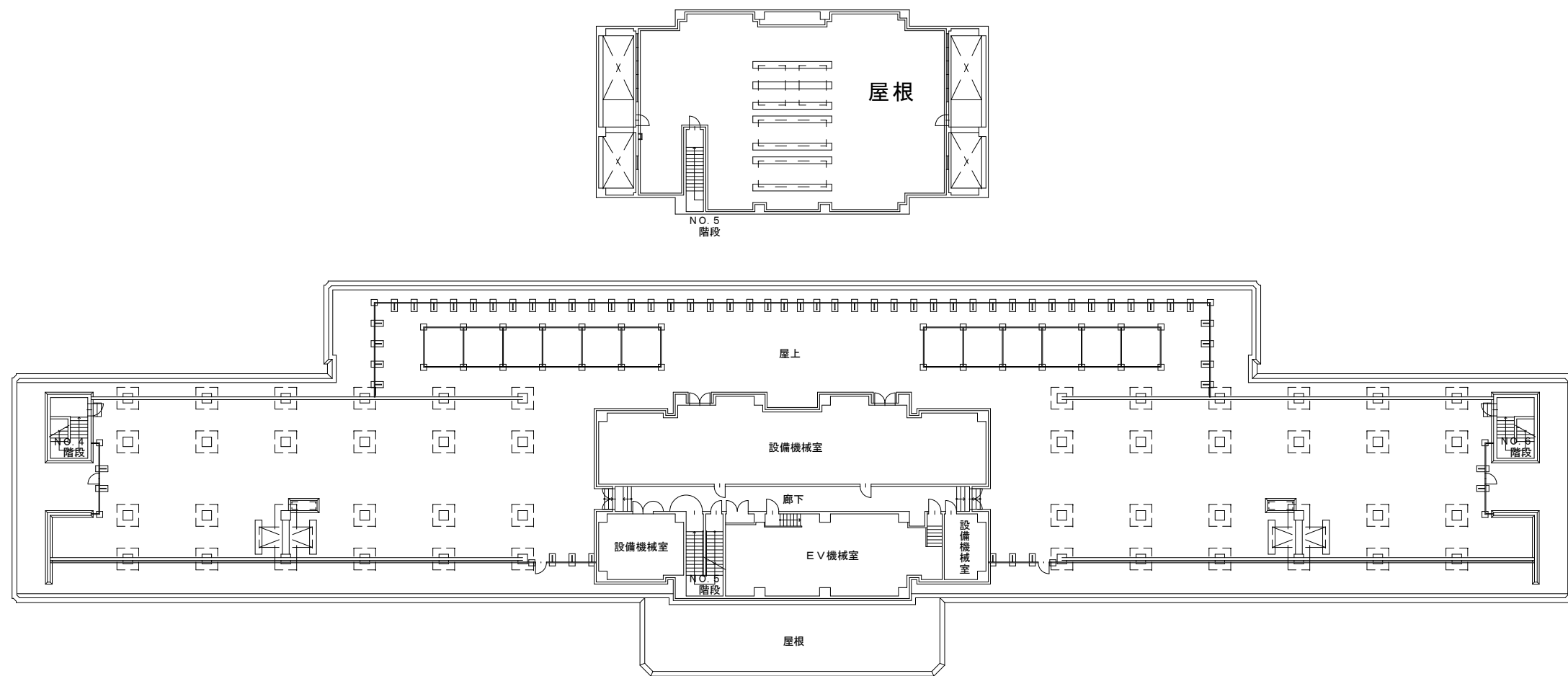


6 階平面図

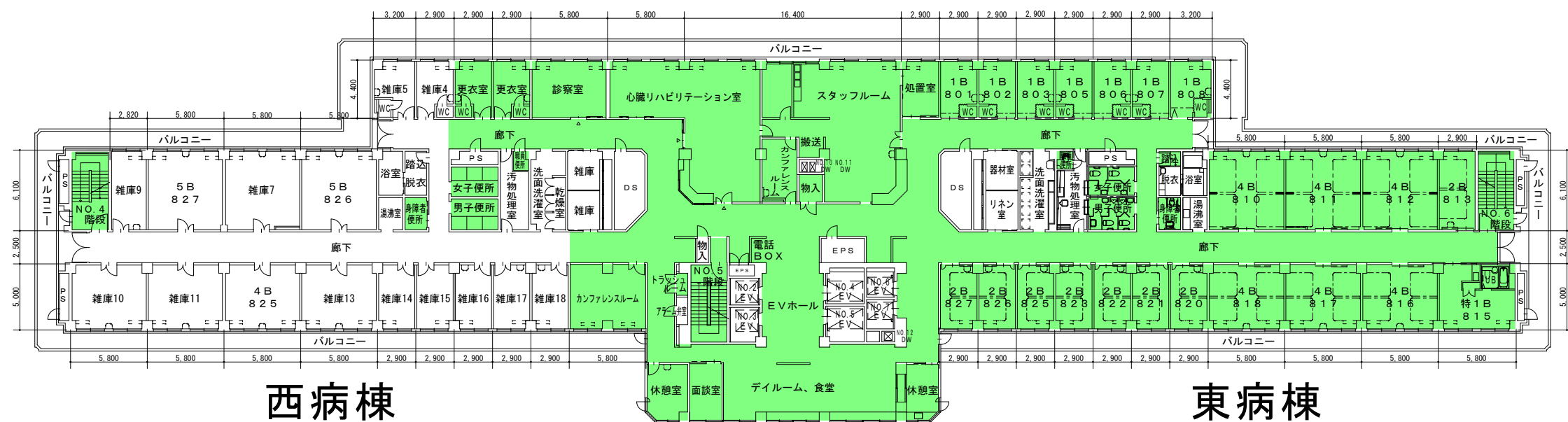


7 階平面図

6 階・7 階 日常清掃

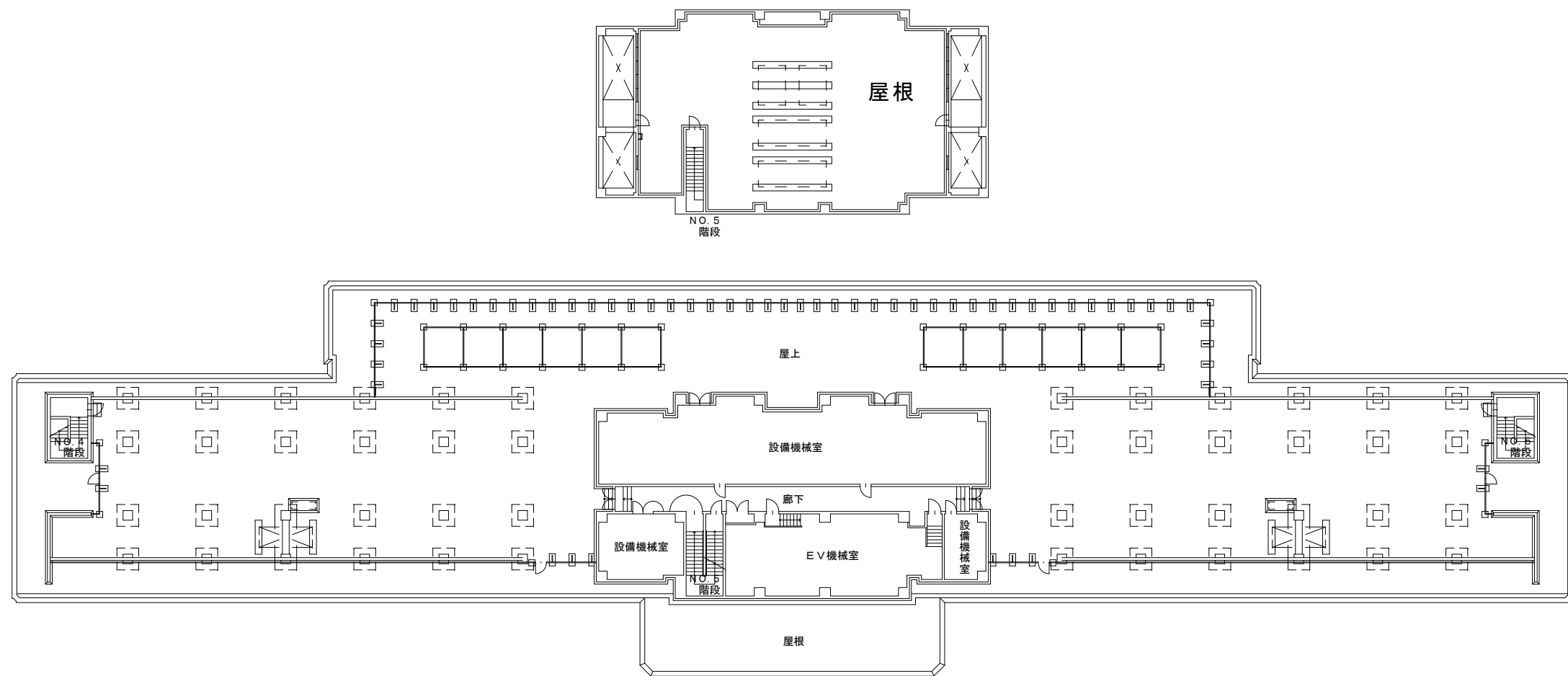


塔屋平面図

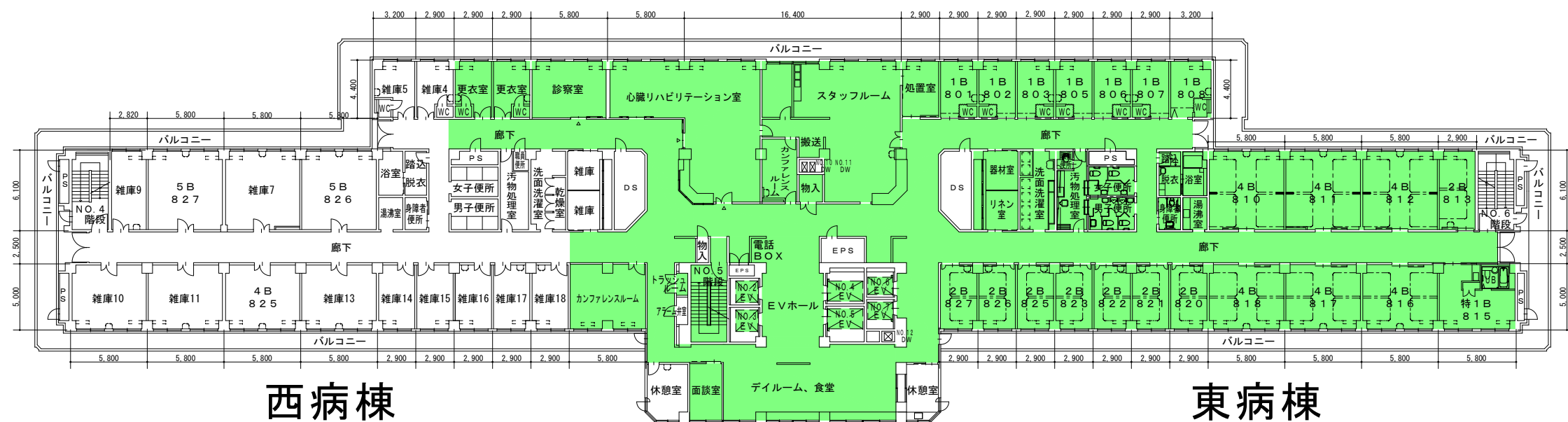


8階平面図

8階・塔屋 定期清掃



塔屋平面図



8階平面図

8階・塔屋 日常清掃